



YOROZU 通信 NEWS

Vol.04

2018.5.31

1,300 問答の建築よろず相談

ニュース 発刊 ; 2018 5月号

座右の銘を「死ぬ事以外は、かすり傷」としている長谷川明弘と申します。

建築よろず相談での記事なので、建築に間することを書くのが普通なのですが、あえて違う話題をメインに書かせてもらいますね。

一応、自己紹介だけはしておきます。私は、大学卒業後、神戸市の設計事務所に勤め始めたことをきっかけに、神戸市で住むようになり、最初の事務所を辞めて大阪などで勤めたりもしたのですが、神戸が好きになってしまい、そのまま神戸市灘区で一級建築士事務所を開業し、はや 25 年が経ちました。主に個人住宅の設計監理が多かったのですが、今は動物病院の設計監理のお仕事も増えて来ています。

という事で自己紹介は、これぐらいにしておいて結婚して 27 年、今でもラブ

ラブな私達夫婦の事を書かせてもらいます。

私は、学生時代からハードロックバンドをやってまして、今もギターは 15 本程所持しています。食卓の椅子の横には常にエレキギターが 2 本置かれていて、何かあったらすぐにギターを弾き始めます。

実は妻も学生の頃からライブハウスに通っていたハードロック好きで、知り合ったのは楽器店でのお見合いでした。お互い意気投合し大学生の頃からの付き合いですが、未だに我が家に流れている音楽はハードロック中心です。

エアロスミス、レッドツェッペリン、アイアンメイデン、AC/DC、ヴァンヘイレン、ジューダスプリースト等々、みなさんがほとんど分からないアーティストの曲を好んで聴いています。

ここからが重要な肝ですが、もし今の妻が、普通の女の子の様に日本の流行の音楽を聴いて大人になっていたらゾツとします。なぜなら、食卓で iPhone と BOSE のスピーカーで大好きなハードロックを流していたら、確実に「うるさい」と怒鳴られると思います。

しかしうちの家庭は、私が新譜の CD などを流しても妻は、「あっ、この曲かっこいいやん」で終わります。ですので、2 人で共有できる趣味が出会った最初から死ぬまで一緒なので、いつまでも夫婦円満でいられます。

もちろんこれは、一つの要因にしかすぎないのですが、私たち夫婦にはとても大きな部分を占めていることは、間違いないことです。みなさんは夫婦で共有部分ありますか？

画像は、私たちがハードロックにのめり込んだ最初のアルバムです。左私右妻